

下田市集中改革プランの検証と総括を行いました

—これまでの下田市の行財政改革の取り組み—

年月	内容
昭和61年2月	第1次下田市行財政改革大綱策定
平成8年7月	第2次下田市行財政改革大綱策定
平成14年2月	第3次下田市行財政改革大綱策定 実施計画：平成13年度～平成17年度
平成18年5月	下田市行政経営方針 (第4次下田市行財政改革大綱) 策定 下田市集中改革プラン (実施計画)：平成17年度～平成22年4月1日

—下田市集中改革プランとは?—

下田市では、平成18年5月に、平成17年度から平成22年4月1日までを取り組み期間とする、「下田市行政経営方針(第4次下田市行財政改革大綱)」とその実施計画である「下田市集中改革プラン」を策定しました。集中改革プランでは、改革の対象となる事務事業や、その取り組みに対する工程を明示していました。また、工程を管理していくために、毎年度進捗状況のチェックを行ってきました。

—集中改革プランによる6カ年の実施効果額—

集中改革プラン策定当初は、9つの改革項目のもと、129事業を取り組み対象としましたが、期間終了時の平成22年4月1日時点では、対象事業が180にまで拡大再編成されていました。以下の表は、9つの改革項目のうち、数値的に実施効果を測定できるものについて、その効果額や達成率をまとめたものです。

	見込効果額 (千円) ①	実施効果額 (千円) ②	未達成額 (千円) ①-②	達成率(%) ②/①×100
民間委託等の推進(指定管理者制度の導入など)	380,110	141,763	238,347	37.3
定員管理・組織機構の適正化(職員数の削減など)	928,823	1,263,864	△335,041	136.1
給与の適正化(給料削減、手当廃止など)	751,430	551,056	200,374	73.3
地域協働の推進(道路、河川、海岸等の清掃など)	0	500	△500	-
経費節減等財政効果(補助金の見直しなど)	3,553,111	2,421,835	1,131,276	68.2
その他検討事項(課税の適正化など)	7,827	18,413	△10,586	235.2
合計	5,621,301	4,397,431	1,223,870	78.2

—主な集中改革プランの成果—

- ・9施設への指定管理者制度の導入
- ・職員数32人削減(H17年度対比)
- ・職員等給料の独自削減、各種手当の廃止
- ・市の各種情報の公表
- ・国保会計への繰出金の適正化
- ・起債等繰上償還と元利償還金の減
- ・補助金の見直し(約4億円の効果)

—主な積み残された課題—

- ・ごみ処理業務委託の検討
- ・幼稚園と保育所の統廃合
- ・公民館の統廃合
- ・給食センターの建設
- ・小中学校の統廃合
- ・市役所庁舎の建設
- ・行政評価システムの導入
- ・使用料・手数料の見直し

—今後の行財政改革—

市の財政は、健全化に向けて着実に歩み始めてはいるものの、まだ楽観できる状況にはありません。今後も行財政改革を継続するため、集中改革プランで積み残された課題を土台として、第5次行財政改革大綱とその実施計画を今年度中に策定する予定です。

問合せ先 企画財政課行革推進業務担当 ☎ 2212 E-Mail kikaku@city.shimoda.shizuoka.jp

11月は児童虐待防止推進月間 『見すごすな 幼い子どもの SOS』

子どもたちが健やかに育つためにあつてはならない虐待。しかし、幼い命が奪われる痛ましい事件が後を絶ちません。児童虐待を防止するためには早期発見が何より大切です!

子どものこんなサインを見逃していませんか?

- ・不自然な傷や打撲のあと
- ・着衣や髪の毛がいつも汚れている
- ・表情が乏しい
- ・おどおどしている
- ・落ち着きがなく乱暴になる
- ・親を避けようとする
- ・夜遅くまで一人で遊んでいる

子どもは虐待を受けていても自分からその事実を周囲に訴えることができません。周りの人が子どものSOSに気づいてあげること、それを相談・連絡(通告)することが必要です。「おかしいな」と感じたら迷わず福祉事務所まで連絡してください。あなたからの連絡が子どもを守る第一歩となります。

また、各地域には、民生委員児童委員という方々がいらっしゃいます。子育てに不安や悩みをお持ちのお母さん、ご近所に虐待が疑われる子どもがいる等心配な方、ひとりで悩まずに是非ご相談ください。個人情報が出れることは絶対にありません。

子どもを虐待から守るための「5か条」

- 1 「おかしい」と感じたら迷わず連絡(通告)してください。
- 2 「しつけのつもり…」は言い訳です。子どもの立場に立って判断しましょう。
- 3 ひとりで抱え込まないで、あなたにできることから実行しましょう。
- 4 親の立場より子どもの立場、子どもの命を最優先にしましょう。
- 5 虐待は特別なことではありません、あなたの周りでも起こりえます。

問合せ先
福祉事務所社会福祉係

☎ 2216

第62回 人権週間

考えよう相手の気持ち
育てよう思いやりの心

国連で世界人権宣言が採択された12月10日を記念して、12月4日(土)から10日(金)までの一週間を第62回人権週間と定め、全国的な啓発活動を実施しています。

人権擁護委員会を「存じですか」
下田市では、現在5名の委員が委嘱されています。

宮川元明、和泉卯子、朝比奈博光、佐々木一宏、河井恵美子
人権擁護委員は、法務大臣から委嘱を受けた民間ボランティアで、人権の大切さなどの啓発活動を行っています。

特設人権相談を開設
相談は無料で、秘密は厳守しますのでお気軽にお越しください。

日時 11月24日(水)・12月8日(水) 午前10時～午後3時
場所 市役所会議室

※相談は、毎月第4水曜日(12月を除く)にも行っています。
問合せ先
下田人権擁護委員協議会事務局

福祉事務所 ☎ 2216

市役所から しんぱんは vol.27

地デジ化へむけて

アナログ放送終了まで、残すところ8か月と少しとなりました。皆様はもう地デジを見ていますでしょうか?

テレビは、番組を楽しむだけでなく、災害情報や世界情勢などの情報を得る手段として、私たちの生活に欠かせないものとなっています。もちろん、テレビなんて必要ない!とおっしゃる方もいるとは思いますが、私の部署では、市民の皆様がデジタル放送を視聴していただけるように、広報などでの周知、地区説明会の開催、地デジでお悩みの方の相談や地デジ難視地域に対する対応などを国と連携を取りながら行っています。

下田市の電波状況を少し説明しますと、約95%はケーブルテレビや共聴組合などでカバーして、ご自分でアンテナを建ててテレビを見ている方は、5%程度しかいません。それだけ下田市は、電波状況が悪い地域なの

です。特に山間部では、状況が悪い所が多く、デジタル放送が映らないとお問い合わせをいただくことが最近増えてきました。そのような地域の場合、対応にかなりの時間がかかることがあります。ご自分の家が山に囲まれていたり、高い建物の陰になっていたりして電波の受信状況に不安がある方は、デジタル放送が映るかどうかなるべくお早めにご確認をお願いします。もし、映らないという方がいましたら、すぐにデジサボ静岡(☎054-333-5700)までご連絡ください。

Eコポイント期限延長

家電Eコポイントの期限が来年の3月末まで再延長されました。しかし、12月から付与ポイント数が大幅に減少され、対象商品についても、統一省エネラベルが5つ星のみと限定されるようですので、デジタルテレビの購入を検討されている方はご注意ください。

企画財政課 鈴木 洋己

